

## 男性の育児休暇取得について

妻の第二子出産にあたり、私は長期の育児休業を取得させていただきます。私が長期の育児休業を取得することを望んだ理由は、大きく分けて二つあります。

一つ目は、「父親」として子育てに専念する期間を作りたいという思いからです。子どもの成長は本当にあつという間で、生まれたばかりの命は初めての連続で、毎日が奇跡のような尊い瞬間で溢れています。長女が生まれたときは一週間の育児休業を取りましたが、「もっと自分の子どもと一緒にいる時間が欲しい。自分の手で子育てをしたい!」という思いがありました。家族との時間が増え、自分の子どもと今まで以上に向き合える期間を得られること、楽しみにしています。きっと自分の人生にとって豊かな時間になると思います。

二つ目は、「保育士」として今後の仕事を続ける上で、必ず生きてくる経験になると考えたからです。生まれたばかりの自分の子どもを自ら育てる経験は、子どもの理解、保護者の気持ちに寄り添うことに繋がるでしょう。一人の人間として、一回り成長して現場に帰ってこられるよう、充実した育児休業期間にしたいと思っています。

社会の変化と共に、育児休業における国の制度が整い、男性の育児休業も推進されていることから、男性も積極的に育児に参加できる機会を得ることが出来るようになりました。妻が個人事業主であることから、私が長期の育児休業を取り、妻が早めに仕事復帰できるように支える予定です。

最後に、今回の長期の休業の取得を実現させてくださったあおぞら保育園に感謝いたします。園長先生に相談した時には、前向きな言葉で背中を押していただきました。ありがとうございます。

今回の私の選択が、育児休業の取得を考えるパパさんたちにとって、選択肢を知る機会になったり、背中を押す勇気付けになったりすれば嬉しく思います。今後もさらに、多様な人生の選択が認められていくような社会になることを願っています。

令和6年3月4日